

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

サッカーワールドカップ(W杯)ブラジル大会アジア3次予選の日本-北朝鮮戦が11月15日にアウェーの平壤で行われる。実は国際Aマッチの北朝鮮戦が北朝

鮮で行われるのは22年ぶり。日本代表サポーターの渡航も予想されるが、国交のない国での開催に関係者の間にはピリピリムードが漂っている。(小国智宏)

平壤観戦。ピリピリムード

来月15日 ⚽ W杯予選 VS北朝鮮

北朝鮮戦が行われるのは、平壤にある金日成競技場。収容人数は十万人といわれ、マスゲーム会場としても知られる巨大なスタジアムだ。

同競技場は人工芝。北朝鮮はこれまで三度予選二試合を、天然芝の羊角島競技場(収容人数三万人)で行っていた。日本戦は金日成競技場で行う理由を、北朝鮮側は「天然芝の発育が悪い」と説明しているという。

外務省「なるべく自粛を」

外務省は、核実験やミサイル発射などを理由に北朝鮮に対し経済制裁を実施中。外務省は国民に渡航自粛を要請しているが、強制力はない。そもそも国交がないため、大使館や領事館は置かれておらず、現地では日本人がトラブルに巻き込まれたり、パスポートを紛失したりしても、外務省と

しては即時の対応が困難なのが実情だ。



一部の旅行業者では、北京経由での観戦ツアーの募集を始めている。ス

「不測の事態に遺漏なく備え」
外務省広報文化交流部は「渡航はなるべく自粛してほしい」としながらも、「現在、政府全体でサポート態勢について検討しており、不測の事態に遺漏のないようにしたい」としている。

旅行業者「危険ないと確認」
9月2日、埼玉スタジアムの一角を埋めた北朝鮮サポーターたち。平壤ではスタジアム全体が赤く染まるかも…

調。五十人以上の申し込みがあったという。日本サッカー協会広報部は「サポーターの渡航」という不思議な雰囲気に関して、こちらから話せる立場にない。報道関係者の人数制限や現地の通信手段などについても、まだ決まっていないという。

日本と北朝鮮はこれまで十六戦し日本の七勝四分け五敗。最新の国際サッカー連盟(FIFA)ランキングでは日本が十七位、北朝鮮が百二